



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第197号 2018年8月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成30年7月31日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
<http://www.sano-k.net/>
info@sano-k.net

こどもの未来は地球の未来

毎年秋恒例の「金沢文庫芸術祭」の準備が進められています。20周年を迎える今年はさらに倍の40周年を迎えるアジア雑貨のチャイハネさんとのコラボ企画となりました。

横浜市金沢区の「海の公園」で9月16日(日)にオープニングフェスティバルとして、ライブ、作品展、ワークショップ、パフォーマンスなどが開催されます。

その後、約2ヶ月間に亘り、金沢区近郊のアトリエや店舗、自宅などでアートラリーが展開されます。

スタッフのほとんどが地元のボランティアで組織され、地域にしっかりと根付いて愛されるこの取組は、金沢文庫の文化となっています。



<https://www.bunko-art.org/home/>

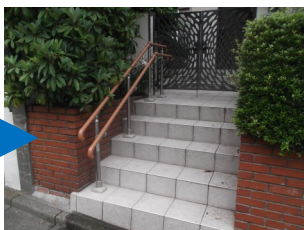
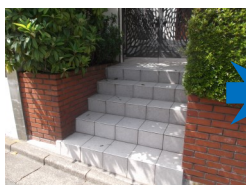
平成19年2月の外装工事以来、住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は、外階段に手すりを設置する工事です。主に使用されるご夫婦に身長差があり、また、訪ねてくる人が自分に合った高さの手すりを選択してほしいという心遣いから高さの異なる2段の手すりを設置しました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

「高さが異なる2段の手すりは、子供からお年寄りまで使いやすいと評判です」というご感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



上段85cm/下段70cm

Oppapamamaile

「オッパパマイ

ル」は、追浜で子育て

をしているパパ・

ママのために活動し

ているグループです。

「追浜+パパ+ママ+スマイル」の意味を持つ造語で、略して「オパイル」です。

「追浜での子育てをもっと楽しみたい!」「毎日子育てを頑張っているママ・パパと繋がりたい!」「元気に遊べる場所、頼れる場所を作りたい!」「私たちの暮らす追浜をもっと盛り上げたい!」というコンセプトでその輪が広がっています。まずは、「#オパイル」で検索。



(FacebookとInstagramで日々の活動を配信中)

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます



創業 1960.1.20.
創刊 2002.4.1.

Next50



ぶんがくかん
よこすか文学館

<32>

横須賀市にゆかりのある文学者や歴史上の人物にスポットをあてて、時代背景とエピソードを交えながら彼らの文芸を紹介します。

【咸臨丸の人々】福沢諭吉
「短歌」

福沢は思いを託した実に多くの漢詩を作りましたが、短歌を詠んだことはほとんどなく、『福沢諭吉全集』にはわずか3首が載るのみです。そのなかの「あるじなき寺にさえずねのりふみ 囀る鳥の音を仏の法の経と誤り」は、明治12年6月20日付の楠本正隆宛書簡中に見える歌。福沢は慶應義塾維持資金を政府に借りようとしたが、結局、断念し、東京府知事の楠本に書簡を送り願書を取り下げる依頼をしました。半年も音沙汰のない政府に対し「あまりに失敬にはあらずや」と不信感を露わにした言葉も見えます。教育の重要性を理解する者がいない政府を「あるじなき寺」とたとえ、そんな政府をあてにしたのは自分の「誤り」であったと自嘲しています。



洗足学園中学高校教諭
中島正二

横須賀製鉄所物語（恒川柳作）＜45＞

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

横須賀製鉄所（造船所）賛舎の第二期生として1873年（明治6年）に卒業した恒川柳作（つねかわ・りゅうさく）は、1988年（昭和63年）発行の横須賀市文化財調査報告書第17集の『明治時代に造られた日本のドライドック』によりますと、1884年（明治17年）に完成した横須賀製鉄所第2号ドック（建設された順序では3番目）は恒川柳作が設計監理されたと記されています。

第一号・第三号ドックはヴェルニーにより設計監理されたものであり、その技術の伝承を受けジュエットの指導の下、日本人の手により初めて設計監理し施工され完成したものです。

そして、恒川柳作は横須賀市内の浦賀川間に所在するドックの設計施工にも当たりました。このドックは、榎本武揚らが亡き中島三郎助のために建設したドックの近い位置に、渋沢栄一等が日立造船川間工場として建設したもので、後に浦賀船渠株式会社を買収されることになりましたが、現在は住友重機械工業株式会社の所有となり周辺の一帯開発により、ドライドックをシティマリーナ・ヴェラシスとしてヨットやクルーザーが係留されています。

また、県内では横浜市内の三菱重工業株式会社横浜造船所2号ドックを1896年（明治29年）に、1号ドックを1898年（明治31年）に、3号ドックを1910年（明治43年）にそれぞれ設計監理して完成させています。

この地域一帯は、MM21として全面的に再開発されました。そして、帆船日本丸の展示場として利用され、ドックヤードはイベント広場として利用されるようになり大きく変貌しました。

更に、県外では広島県呉市の海軍鎮守府第一号船渠を1891年（明治24年）に、長崎県佐世保市海軍鎮守府第一号船渠を1895年（明治38年）に京都府舞鶴市海軍工廠を1904年（明治37年）にそれぞれ設計監理し完成させています。

恒川柳作は、造船所建設のスペシャリストとして休む間を惜しんでの活躍であったと思います。こうした人材が後世の技術者達に技術の伝承が行われ、造船大国日本を築く礎になったと考えられます。

（元横須賀市助役 井上吉隆）



恒川柳作が設計監理したドックを再開発して建設されたMM21地区

横須賀市土砂災害ハザードマップ



三浦半島は、三方を海に囲まれ、自然豊かな緑に恵まれているがゆえに、自然災害の被害を受けやすいということにもなります。毎年巨大化する台風や長時間降り続く大雨に備えて、自分の住んでいる地域について再確認をしましょう。谷戸と言われる地形が多く存在する横須賀市ではハザードマップにより注意喚起がされています。

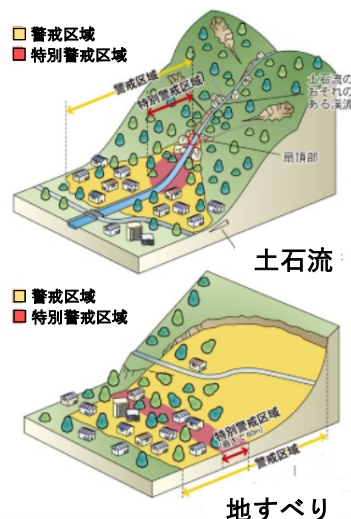
土石流とは…

山腹が崩壊して生じた土石など又は溪流の土石などが水と一体となって流下する自然現象で、横須賀市の土石流の警戒区域は119箇所、特別警戒区域は85箇所となっています。

地すべりとは…

土地の一部が地下水などに起因して滑る自然現象（又はこれに伴って移動する自然現象）で、横須賀市の警戒区域は39箇所、特別警戒区域は0箇所となっています。

（参考資料「横須賀市土砂災害ハザードマップ」平成29年3月作成）



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2018」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索